腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術クリニカルパス（EVAR）

様

日付		／ 手術前日	／ 手術日	／ 術後1日目	／ 術後2日目	／ 術後3日目	／ 術後4日目	／ 術後5日目	／ 術後6日目	／ 術後7日目
観察		発熱がないか観察します	・手術後の状態を観察します（足の脈の触れ、手足の冷たさ） ・傷の観察を行います（出血・痛み・腫れ・傷の赤みなど） ・熱がないか観察します ・腹部症状（排便状況・お腹の痛み・動き・張り）の観察をします							
安静		制限はありません	手術後よりベッド上で過ごします ベッドから起き上がることはできません	・医師の確認後、術後1病日よりリハビリを開始します ・リハビリの進行具合によって歩くことのできる範囲が変わります						
食事		21時から食事ができません 水分摂取の時間については、看護師がお伝えします	手術1番目：当日朝6時から水分摂取できません 手術2番目：10時から水分摂取できません 手術3番目以降：手術の3時間前から水分摂取できません	・医師の指示に従い減塩食（または普通食）が提供されます ・飲水制限の必要のある方は医師の指示に従ってください						
清潔		手術を控えているため、シャワーまたは入浴を行いましょう	シャワー・入浴はできません	・傷の被覆材（テープ）が取れるまではからだ拭きを行います ・手術後約1週間で傷の被覆剤がとれます。被覆剤が取れたらシャワー浴ができます ・入浴は、退院後の初回外来まで控えてください						
排泄		排便があるか確認します	手術後より尿の管が入ります	・医師の指示があるまで尿量を測定します						
処置		・手術部位の除毛を行います （へそ下～太もも、足の付け根） ・点滴の針を挿入します		・医師の指示により適宜処置を行います ・毎日医師による回診があります						
検査		採血、胸部・腹部レントゲン、心電図を行います	術後に採血、胸部・腹部レントゲン、心電図を行います	採血、胸部・腹部レントゲンを行います	採血、胸部・腹部レントゲンを行います		採血、胸部・腹部レントゲンを行います	CTを行います	採血を行います （術後5日目にCTを行っていない場合は術後6日目に行います）	
			・術後より心電図を装着します							
薬物療法	点滴		・術前より水分補給の点滴を開始します ・術後より水分補給、胃薬の点滴を行います							
			・術後より抗生剤の点滴を行います（術後2日目まで）							
	内服			・薬の内容を確認し、医師の指示の物を内服して頂きます ・痛みがあるときには痛み止めがありますので看護師に伝えてください						
説明 退院計画		・術前パンフレットに沿って手術の説明を行います	手術後はICUに入ります	・退院に向けてリハビリを積極的に行いましょう ・退院に向けての要望と今後の計画について、看護師が一緒に考えます ・退院前に医師より面談があります ・手術後約1週間で退院となります						
				・状態を確認し、病棟へ移動します		・傷の観察方法を説明します ・血圧手帳の記載方法を説明します			傷の保清方法を説明します	
指導				・退院に向けて看護師より保健指導があります ・内服薬の変更がある場合、薬剤師から薬の説明があります ・必要な場合、栄養士より栄養指導があります						
目標		・手術の流れが理解できる ・手術の準備ができる	・術後の安静が守れる	・退院後の生活の注意点が理解できる （傷の痛み、しびれ、出血が続く場合、傷の赤み、腫れ、熱感、膿がみられる場合受診してください）						
						・傷の観察方法について理解できる ・血圧手帳の記載の必要性がわかる			傷の保清方法について理解できる	

※症状・経過によってはスケジュール通りにならない場合があります

2020年12月作成（2025年7月改訂）パス委員会承認　聖隷浜松病院　A3病棟